

## 歯・口腔の事故や外傷予防

わが国では、不慮の事故が子どもの死亡原因の上位となっています。発達とともに活動的になっていきますが、乳幼児は転びやすく、その結果、歯・口腔に外傷を負うことが多くあります。発達過程でどんな事故が起こりやすいのかを知っておくことは、歯・口腔の外傷を予防する上で大切です。そこで、注意すべき主な事例を以下に明示しますので、ご参考ください。



机の角に顔をぶつけやすいので、机の角をラバーなどでカバーしましょう。



電気のコードをくわえてしまって、唇や舌または歯に外傷を負うことがあるので、コードのしまい忘れに注意し、またコンセントにカバーをするなどの対策をしましょう。



目を離した瞬間の誤嚥時の事故も頻発します。手にしたものをすぐに口に持っていくこともあります。タバコや薬、先の尖ったものなどを出しっぱなしにしないようにしましょう。



子どもは口にもものを加えて歩くことがあります。転倒によって歯・口腔の外傷や、重大な事故を起こすことがあるので要注意です。



階段からの転落防止の柵を付けましょう。



自動車に乗る時はチャイルドシートに座らせましょう。自転車に乗せるときはヘルメットを着用するようにしましょう。